

「北海道初開催イベントPRの記事体企画」

ニドム、「日本シニアオープンゴルフ選手権」北海道初開催の発信

国内3大オープンの1つでもある「日本シニアオープンゴルフ選手権」が2018年7月12～15日に北海道苫小牧市にあるニドムクラシックコースにて開催されました。ニドムを訪問した際、社長から北海道初となる日本シニアオープン開催までの熱い思いをお聞きし、この熱い思いを多くの読者へ伝えるため、インタビュー形式の記事体企画を提案しました。

31 (全国広告) 2018年 平成30年 6月25日 (月曜日) 北 海 道 新 聞 社



記事体企画の狙いとして、「日本シニアオープンの周知そして来場へつなげること」、さらに、「ニドムクラシックコースのすばらしさを伝え、利用者を増やすこと」を意識した紙面づくりを目指していました。

同社のお力添えもあり、日本ゴルフ協会の専務理事である山中博史さんに加え、北海道出身で日本シニアオープンの優勝経験もあるプロゴルファー・高橋勝成さんへのインタビューが実現。運営側そして選手の目線で、ニドムでの開催実現までのいきさつや日本シニアオープンの楽しさ、ニドムクラシックコースのすばらしさを語っていただくことで、より深みのある内容となりました。

新聞紙面で、道内のゴルフファンにとどまらず、一般読者にもより広く伝えることで、日本シニアオープン、ニドムクラシックコースの周知をできたと感じています。

国を代表するナショナルオープンチャンピオンシップ
土曜 日本シニアオープンゴルフ選手権とはどのような大会ですか
山中 ナショナルオープンという国を代表するチャンピオンシップが北海道に初めて「日本シニアオープン」がその一つで、「日本オープン」日本女子オープンと並ぶ国内最大のオープンでもあります。日本ゴルフ協会(JGA)主催、日本ゴルフ協会の協賛で開催される日本シニアオープンは、選手と観客の両方から注目を集める大会です。
1991年に始まった日本シニアオープン。以来、観客ゴルフが華やかな格好で注目を集めてきました。そのシニア大会が今年7月12日～15日、ニドムクラシックコース(ニドム)に(苫小牧市)で開催される。開大会で後援総務のあるプロゴルファー高橋勝成さん、日本ゴルフ協会専務理事・山中博史さんに開催経緯や見どころなどについて話を伺いました。
※取材者:北海道新聞社取締役営業部長 土屋 敬司 企画制作:北海道新聞社営業局



1991年に始まった日本シニアオープン。以来、観客ゴルフが華やかな格好で注目を集めてきました。そのシニア大会が今年7月12日～15日、ニドムクラシックコース(ニドム)に(苫小牧市)で開催される。開大会で後援総務のあるプロゴルファー高橋勝成さん、日本ゴルフ協会専務理事・山中博史さんに開催経緯や見どころなどについて話を伺いました。
※取材者:北海道新聞社取締役営業部長 土屋 敬司 企画制作:北海道新聞社営業局



株式会社 サ・ニドム 苫小牧市穂田430番地 TEL.0146-55-5111

POINT! (2018年6月25日 朝刊 札幌本社版 全15段) (本社営業局 山下直哉)

* 北海道初開催のイベントなどについて北海道新聞の記事体広告でより詳しく発信することが可能です。

◆お問い合わせ/北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2018.7)

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中!【道新 営業局】で検索! (https://adv.hokkaido-np.co.jp/)